

妊産婦のメンタルヘルスケアの推進について

今回は妊産婦のメンタルヘルスケアの推進についてご報告します。

妊産婦は、ホルモンバランスの乱れ、環境の変化やストレスなどで心身のバランスを崩しやすく、うつ病の発症など、メンタルヘルスに関する問題が生じやすい状況にあります。妊産婦の死亡理由の1位は自殺で、その原因として「周産期うつ」が挙げられています。しかし、産科の医療機関からは「精神疾患には対応できない」、精神科の医療機関からは「妊産婦に薬を処方してよいか分からない」と言われるため、軽症であっても両科を併せ持つ基幹的な病院に患者が集中してしまっている現状があります。県としてどのように対応するのか、県議会で知事の所見を問い、知事からは、次のような答弁がありました。

「県では、国の補助金を活用し、メンタルヘルスに課題がある妊産婦に対し、症状の程度に応じて関係機関が連携する『地域全体で支えるネットワーク』の構築を目指す。具体的には、精神の不調が軽度の妊産婦に対しては、地域の身近な産科と精神科、市町村や保健所が緊密に連携する体制づくりを行っていく。また、精神症状が重症化した場合は、地域の基幹病院に円滑につないでいくことで妊産婦のメンタルヘルスに対応していく」。

安心して出産育児ができる環境のため、これから



からもさまざまな角度から課題に取り組んでまいります。お困りごとやご要望がございましたら、ぜひお気軽にご相談ください。

公明党

神奈川県議会議員



おだ 幸子さん

プロフィール

藤沢市辻堂東海岸在住
明治大学政治経済学部・日本工業大学
専門職大学院卒業
中小企業診断士・防災士
MOT（技術経営修士）
2023年4月の神奈川県議会議員選挙に
初当選
家族は夫と大学生の息子

ご意見ください

【連絡先】

神奈川県議会公明党控室

TEL 045-210-7630

HP・SNS <https://lit.link/odasatiko>

HP・SNSは
こちらから



<https://s-el.jp/k/os>